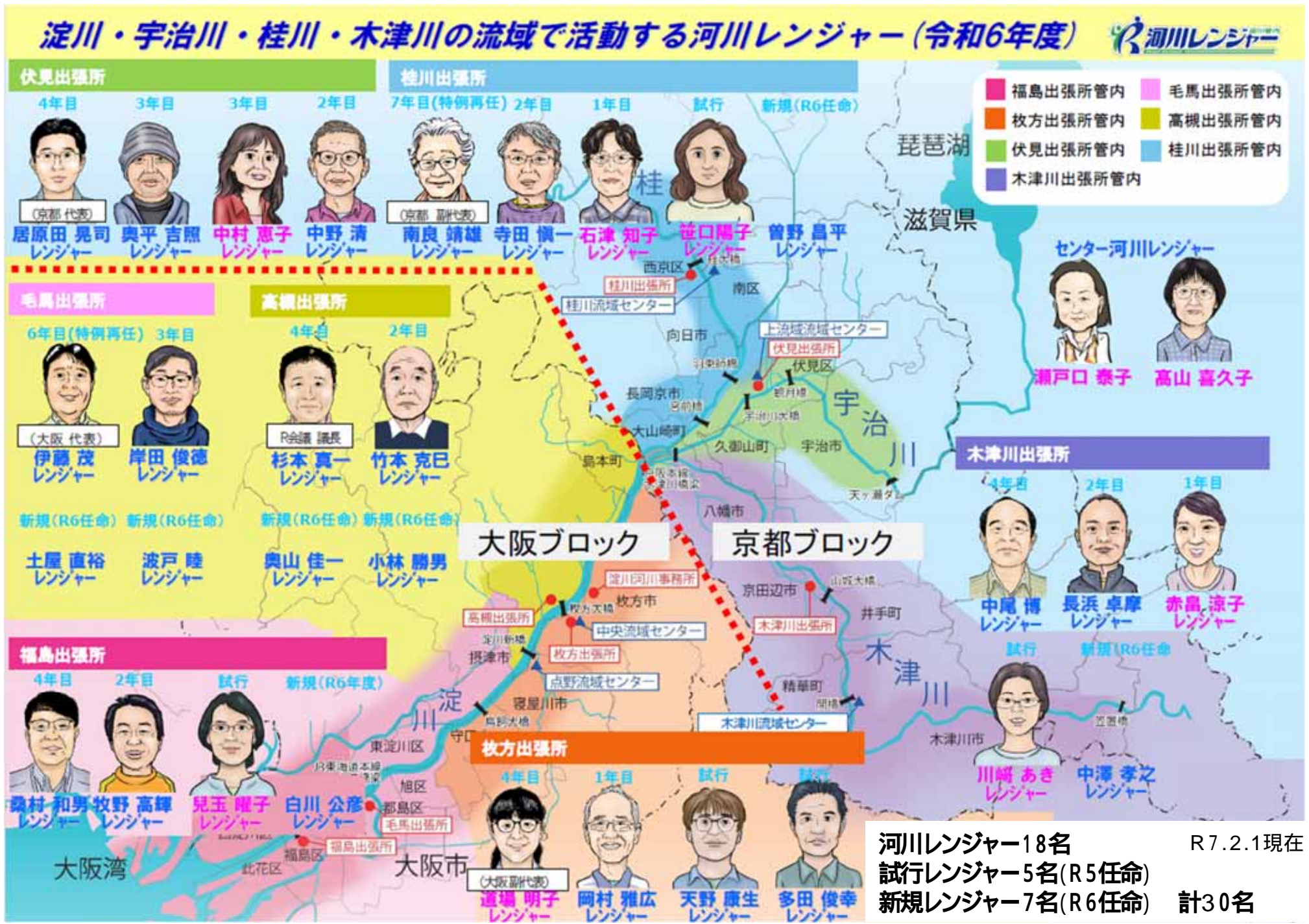


# 令和6年度河川レンジャーの 取り組みについて

# 目次

1. 令和6年度淀川管内河川レンジャー	.....	1
2. 河川レンジャー活動状況	.....	3
3. 第2回河川レンジャー交流会の開催	.....	10
4. 河川レンジャー育成・発掘の取り組み	.....	11
5. 河川レンジャー活動成果の発信	.....	15
6. 淀川水系一斉美化アクション	.....	17
7. 淀川かわづくりパートナー	.....	19

# 1. 令和6年度淀川管内河川レンジャー



# 淀川・宇治川・桂川・木津川の流域で活動する河川レンジャーアドバイザー（令和6年度）



河川レンジャーアドバイザー  
25名

R7.2.1現在

- 福島出張所管内
- 毛馬出張所管内
- 枚方出張所管内
- 高槻出張所管内
- 伏見出張所管内
- 桂川出張所管内
- 木津川出張所管内

伏見出張所

桂川出張所



中川 雄介  
アドバイザー  
12年目



田子 稔  
アドバイザー  
14年目



松方 隆  
アドバイザー  
6年目



東 親志  
アドバイザー  
5年目

大阪ブロック

高槻出張所



酒井 信行  
アドバイザー  
12年目



原 健二  
アドバイザー  
5年目

福島出張所

12年目

8年目

6年目

5年目

3年目



辻川 松子  
アドバイザー



池宮 寛  
アドバイザー



西岡 和昭  
アドバイザー



亀井 伸幸  
アドバイザー



平井 裕三  
アドバイザー

毛馬出張所



崎谷 久義  
アドバイザー  
10年目



石山 郁慧  
アドバイザー  
7年目



川嶋 秀一  
アドバイザー  
4年目

枚方出張所



立川 亨一  
アドバイザー  
14年目



上田 豪  
アドバイザー  
12年目



山口 進  
アドバイザー  
11年目



玉井 理恵  
アドバイザー  
8年目



出来 猛  
アドバイザー  
5年目



安田 宇江亜  
アドバイザー  
3年目



山口 遼太  
アドバイザー  
2年目

木津川出張所



福井 波恵  
アドバイザー  
12年目



田中 実知世  
アドバイザー  
7年目



山田 信人  
アドバイザー  
7年目

京都ブロック



山村 元秀  
アドバイザー  
1年目

# 2. 河川レンジャー活動状況

## 2.1 河川レンジャー活動状況(概況)

河川レンジャーは、地域情報を収集し、自分自身の活動スキルと地域のニーズに合った活動を主催している。

令和6年度(R6.12月末時点)は、活動回数200回、参加者10,778名であり、昨年を上回る活動状況となることが予想される。



\* 代表的な活動事例を掲載

# 学校連携の取り組み深化

学校の防災学習・総合学習の相談が増加→相談内容を聴き取り、授業内容の提案、アドバイスなど、川の専門家として貢献

## 門真市立第5中学校 全校防災講座

### 視聴覚室

- ・解説、スライドの操作
- ・作業内容の伝達



### 2教室

- ・大型モニターで遠隔授業
- ・岡村Rの指示で教員が進行



岡村Rは視聴覚室で解説とPC操作を行い、WEBミーティングツールで2教室へ共有。岡村Rの指示を受け、教室では教員が進行と作業の指導を行った。

**【教員によるマイ・タイムライン授業】を補助する授業方式を新たに生み出した。**

グループワークでは2教室をまわり、理解度の確認や生徒の質問に回答。



日程	5時間目	6時間目	人数
7/16	2年1・3組	2年2・4組	155名
7/17	3年1・3組	3年2・4組	148名
9/3	1年1・3組	1年2・4組	137名
計			400名

## 啓光学園 地域の課題解決型FAL授業支援

### 学習・体験



### 調査・ヒアリング



地元商店街水害調査

### 自分事化



生徒による啓発活動のリハーサル

### アウトプット



小学校出前授業支援

## 桂東小学校他 総合学習支援

学校側のニーズをふまえて学習内容の提案を行い、レンジャーは「川に詳しい」「川を守っている」地域人材として話題を提供



質問タイムは長蛇の列

## 2.2 流域治水への取り組み

**淀川水系流域治水プロジェクト 【位置図】** 【全体版】  
 ～流域人口1,100万人の「淀川市民」の命を守る治水対策の推進～

○淀川水系の特徴として下流部ではゼロメートル地帯が広がり、上流の宇治川・瀬田川、本淀川、桂川においては、避難からの流出防止に、避難所、保護堤と称される仮設堤が存在し、淀川においても避難所が狭小な状況となっている。令和元年西日本豪雨では、各地で数倍の洪水による甚大な被害が発生したことを踏まえ、淀川水系においても気候変動の影響等を踏まえ上下流バランスを確保しながら上流域では、川上らでダム建設や支え嵩上げ等による洪水調節機能の向上と、下流域では、洪水の流れを改善している改修工事等の事前防災対策を進める。これらの取り組みにより災害リスクを減らし、淀川川において計画規模洪水と安全に渡らせる能力を堅持しながら宇治川・桂川において平成25年台風19号洪水を安全に渡らせる本淀川・淀川については、計画規模以上の洪水の被害を減らす。1億以上の人口を安全に渡らせる。

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組、水害リスク情報の空白域の解消、内水ハザードマップの策定
- ・避難指示等の判断・伝達マニュアルの整備
- ・広域避難計画等の策定 ・マイ・タイムラインの作成
- ・要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施、避難支援対策の整備
- ・水位計・監視カメラの設置、監視体制の拡充
- ・VR・AR等を用いた情報発信
- ・「局地的豪雨探知システム」の活用推進とゲリラ豪雨対策アクションプランの策定
- ・住宅再建共済制度への加入促進 等

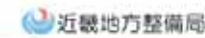
河川レンジャーでは、淀川水系流域治水プロジェクトをふまえ、「被害の軽減、早期復旧、復興のための対策」から、マイ・タイムラインの作成に着目し、活動を進めています。

流域治水関連法の付帯決議(R3.4)においては、「流域治水の推進にあたっては環境分野の取り組みが重要」とされ、環境保全への取り組みにも着目しています。

「あらゆる関係者が協働して「流域治水」を計画的に推進することが重要」として、流域治水協議会構成員として河川レンジャーを拡充。(R5.3)

河川レンジャーではマイ・タイムライン及び防災学習普及計画案をもとに、流域治水への取り組みを展開。

### 構成員の拡充について



- 淀川流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進することが重要。
- 地域の防災リーダーなどが協議会(分会)に参画いただき地域の安全確保の実現に向けたワークショップや意見交換会の開催等、流域治水への住民参画の取組を引き続き拡大していくため、構成員を拡充。



- 今回の流域治水協議会にて、河川レンジャーを構成員に拡充。

●協議会での役割: 日頃から河川レンジャーとして活動されている中で、防災・減災に関連した活動内容に関する情報提供、行政に期待する課題・提案を行っていただくとともに、地域住民への情報発信など幅広い取組を実施。



マイ・タイムライン等に関するワークショップ

※淀川管内河川レンジャーとは  
 淀川河川レンジャーは、行政と住民との橋渡し役となって、防災学習や水防活動等の防災を推進する活動、河川に係わる環境学習等の文化活動や動植物の保全等の活動を実施するとともに、不法投棄の状況把握や河川利用者への安全指導など、河川管理者が責任を果たさなければならないもの以外で、比較的軽便で危険を伴わない範囲における河川管理上の役割を担い、河川と地域との良好な関係を構築する。(淀川管内河川レンジャー(試行)運営要領)



今後も引き続き、協議会構成員の拡充を図る。

### 流域治水協議会

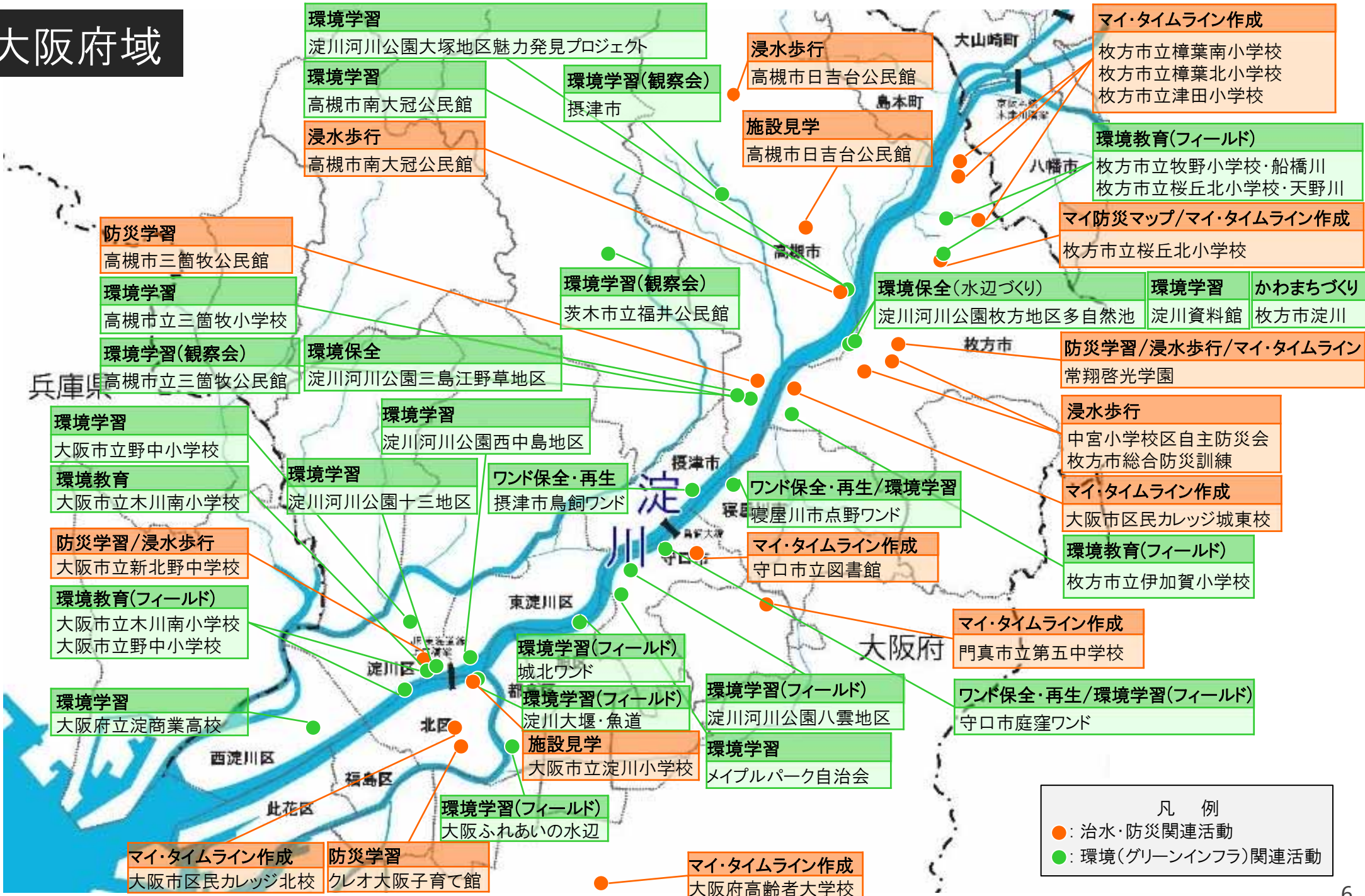
流域に関わるあらゆる関係者(国・府県・市町村・企業・個人等)による取り組みを適切に組合せ、加速化させることで効率的・効果的な治水安全度の向上を実現させるとともに、その考えや施策を、「流域治水プロジェクト」としてその全体像を社会全体にわかりやすく示し、地域が共通の理解を持ち議論を継続することを目的に設置(R2.8)

# R6年度流域治水プロジェクト関連活動実績図

(R6.12とりまとめ)



## 大阪府域

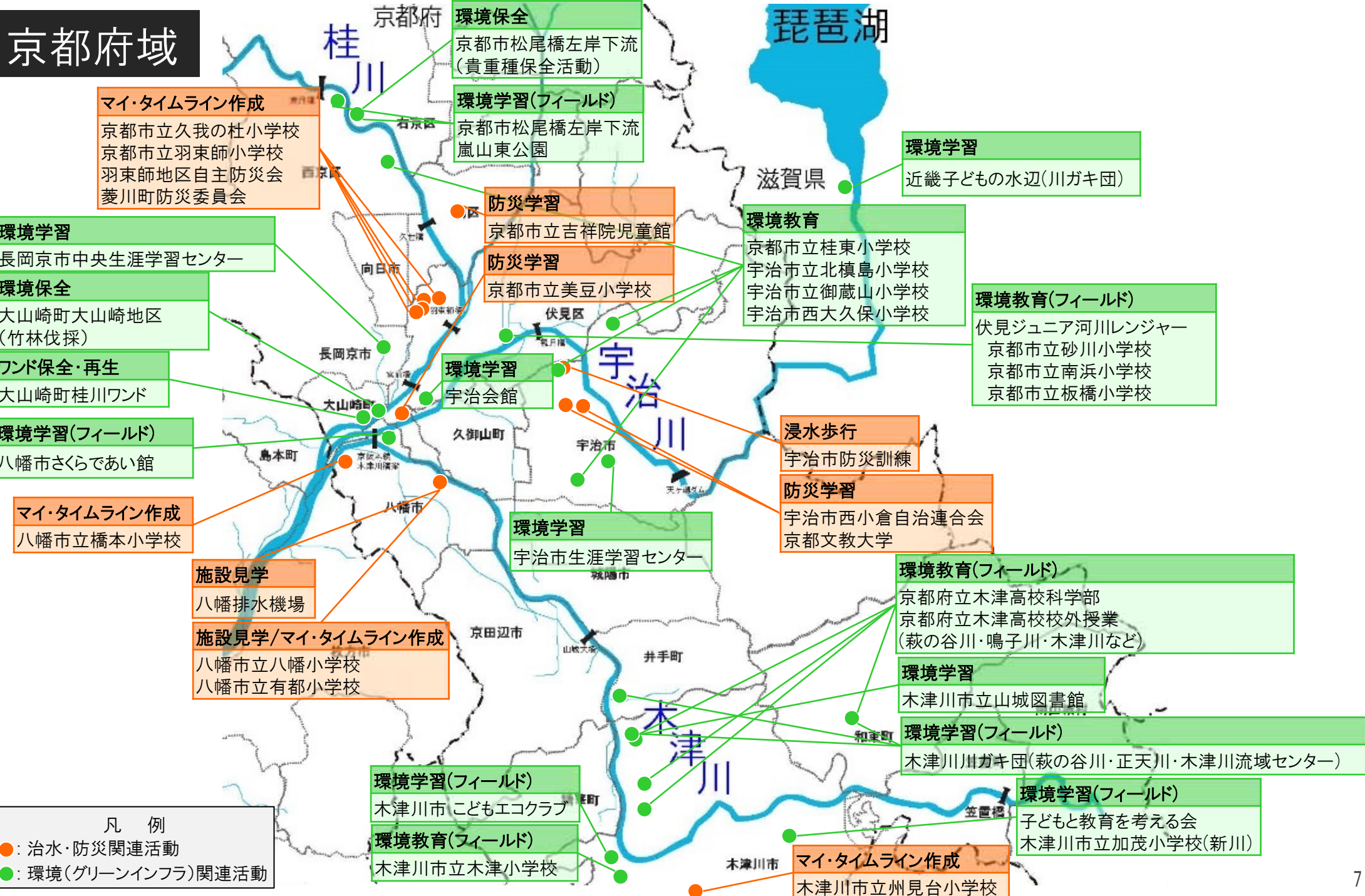


凡例  
 ● : 治水・防災関連活動  
 ● : 環境(グリーンインフラ)関連活動

# R6年度流域治水プロジェクト関連活動実績図

[R6.12とりまとめ]

## 京都府域



被害の軽減、  
早期復旧・復興のための  
対策

地域住民等の主体的かつ適切な避難行動の実現に向けた活動を実施。  
流域治水を推進する観点から、地域と連携した避難訓練への参加・協力、マイ・タイムラインやマイ防災マップの作成支援、防災に関する知識習得を目的とした出前講座・防災学習会などの活動に取り組んでいる。

## 流域治水の自分事化

枚方市立桜丘北小学校への水防災出前授業では自治体職員と連携して「学ぶ・調べる・考える」の3ステップで水害対策を自分事化。PBL(課題解決型)授業として地域防災への自発的な取組を促し、「マイ・タイムライン作り」「マイ防災マップ作り」「児童から地域への発信」までを総合的に実施した。

### 桜丘北小学校 防災出前授業(枚方市)

当初は単発の出前講座依頼だったが、教員のニーズを汲み取りPBL授業として実施。自治体と共に基礎学習を行った後、児童が地域の水害リスクを調査した。調査結果をもとに「保護者とのマイ・タイムライン作り」や「マイ防災マップ作り」を行い、完成した成果は地域へ共有。「地域課題を自分事として解決する」一連の学習を提案・実施した。



枚方市危機管理部職員とレンジャーによる水災害の学習



学習を踏まえ、児童が地域を調査



各自が調べた調査内容をタブレットで情報統合



参観に来た保護者と共にマイ・タイムラインを作成



各児童が調査した内容を市職員と地域住民に発表。



児童が作成したマイ防災マップは枚方市や福祉委員へと共有

## マイ・タイムライン学習

「マイ・タイムライン」学習は地域のニーズや特性に合わせた形で実施。八幡市では排水機場の見学を合わせ、地域の特性を通して自分事化。木津川市では浸水区域外を対象に「マイ・タイムライン」授業を実施。

### 八幡小等 出前授業(八幡市)

近隣の排水機場の見学して水防災事業を学び、地域水防災の重要性を自分事化し、マイ・タイムライン作成の意欲を向上。複数の小学校で同様の取組を広げている。



排水機場の見学



マイ・タイムライン作成を指導

### 州見台小 出前授業(木津川市)

地域特性に合わせたマイ・タイムラインツールを作成し浸水想定区域外の小学校で授業を実施。「将来移住する子ども達のために伝えてほしい」という教員や保護者の要望に応えた。



ハザードマップで地域の特性を理解



地域特性に合わせたツールで授業

## ワンド等の保全・再生に関する活動

自然環境の保全・復元  
などの自然再生

### 桂川ワンドでの調査・防除活動

地域団体等と連携し、外来種の防除や貴重植物の保全活動を定期的に実施。



外来植物の防除



貴重種の保全

### 枚方公園多自然池エリア なごめる水辺づくり

「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり」(令和5年8月登録:枚方市)との連携が計画されている枚方地区多自然池において清掃活動等の環境保全活動を実施。



多自然池の清掃活動



保全に向けた意見交換

### 点野みんなの水辺づくり

大学や地域団体と連携した外来種駆除や清掃活動等のワンド保全を行い、市民による水辺づくりを実施。



ワンド周辺の清掃活動

### 庭窪ワンド保全活動

平成28年から市民団体・大学や企業と連携して外来種除去や清掃活動等のワンド保全活動を実施。



大学や企業、市民団体等との連携

魅力ある水辺空間・  
賑わいの創出

## 鳥飼地区での賑わい創出活動

### 鳥飼ワンド大作戦

学生団体や地域団体等と連携し外来種防除やワンド維持管理に取り組みながら、市民対象のブース出展やワンドへの見学ツアーなどを通して鳥飼地区の環境や整備計画を周知。舟運事業等とも絡めて鳥飼地区の賑わいを創出している。



ブースでの生体展示



鳥飼地区船着場の解説



鳥飼ワンドの現地案内

自然環境が有する  
多様な機能活用の  
取り組み

## 環境学習等のソフト施策に関する活動

### 木津高等学校 連続講座

高校生へ河川環境授業を実施。水辺の安全利用や生物調査の体験を通して、地域の河川と自然環境の魅力を理解し総合的に伝えられる人材を育成した。



河川環境に関する座学



生物調査の授業



水辺での安全管理指導

# 3. 第2回河川レンジャー交流会の開催

流域治水推進に向けた情報共有と交流を目的に、琵琶湖、猪名川、木津川上流、淀川河川事務所の河川レンジャーが交流する「河川レンジャー交流会」を開催しました。昨年に続き今回は2回目であり、1回目参加者の要望をふまえた活動体験(浸水地歩行体験、歴史ウォーキング)、活動を充実させる情報共有・交流としてのワークショップを実施し、好評を得ました。

河川レンジャー交流会概要	
日時	1月12日(日)10:00~15:00
場所	中央流域センター
出席者	河川レンジャー17名、河川事務所2名、事務局9名
内容	浸水地歩行の準備と体験 周辺の歴史ウォーク ワークショップ「活動にひと工夫を加えよう！」 ワークショップ「活動を深めよう！」



# 4. 河川レンジャー育成・発掘の取り組み

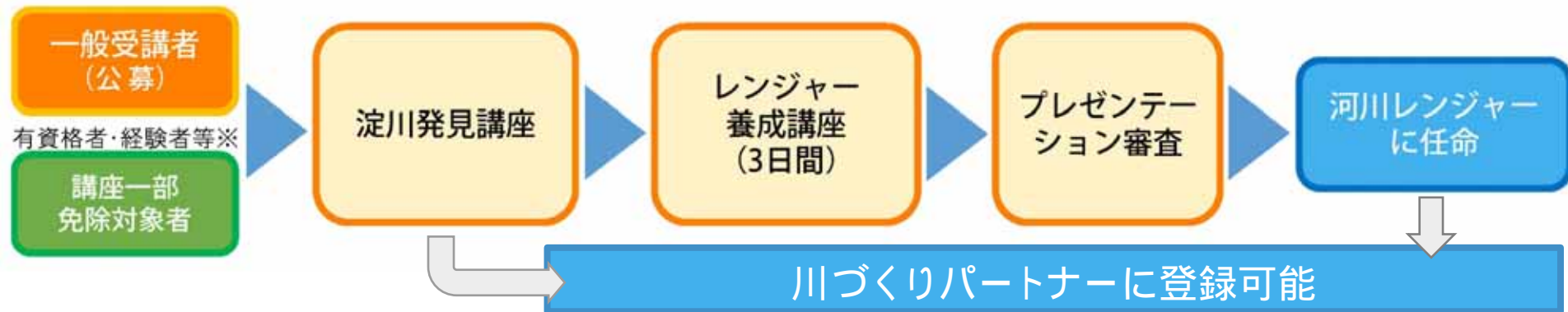
## 4.1 背景・課題

河川レンジャーの育成・発掘のために実施している「淀川発見講座」においては、レンジャーや活動を全く知らない参加者が多くを占めている。

講座において、実態と異なるイメージ(活動を斡旋される、すべて指示がある、広報をやってもらえる、活動の1部分を当日担当すれば良い等)が伝わり、レンジャー任命後にとまどい、試行期で活動を終了されるケースがでていた。これをふまえ、「淀川かわづくりパートナー制度」を整え、発見講座で活動に関心を持った方や、試行期で活動を終える方の受け皿として運用する対応を進めている。

一方で講座の課題は残っているため、講座内容の改善が必要となっていた。

### ■河川レンジャーになるまでのスケジュール



## 4.2 解決の方向性

レンジャー活動のあるべき姿を伝える  
発見講座で対応

活動主催者の責任、なすべき事を伝え、体感させる  
養成講座で対応

任命後もあるべき姿、なすべき事を伝えつづける  
育成プログラム(研修)で対応

## 4.3 課題への対応

### (1) 発見講座「河川レンジャーは川の課題解決に取り組む」ことを意識づける

講師として登壇する専門家が河川に関する課題を提示し、その課題に取り組むレンジャーが自身の活動を紹介、または活動を参加者に体験させることで「レンジャー活動とは川の課題解決に取り組むもの」の意識づけを行った。



河川に関する課題の提示  
(専門家)



課題に対する活動事例の紹介  
(レンジャー)



課題に対する活動に参加  
(マイ・タイムライン)

### (2) 養成講座「活動体験を通して主催者としてなすべき事を伝える」

主催者として活動を行うイメージを具体化するため、受講生自身が活動を発表するパートを設けた。

発表後には、実現性や社会性など主催者として意識すべきポイントが押さえられているかどうか振り返りを行った。



主催活動を想定した発表  
(受講生)



発表後の振り返り  
(受講生)

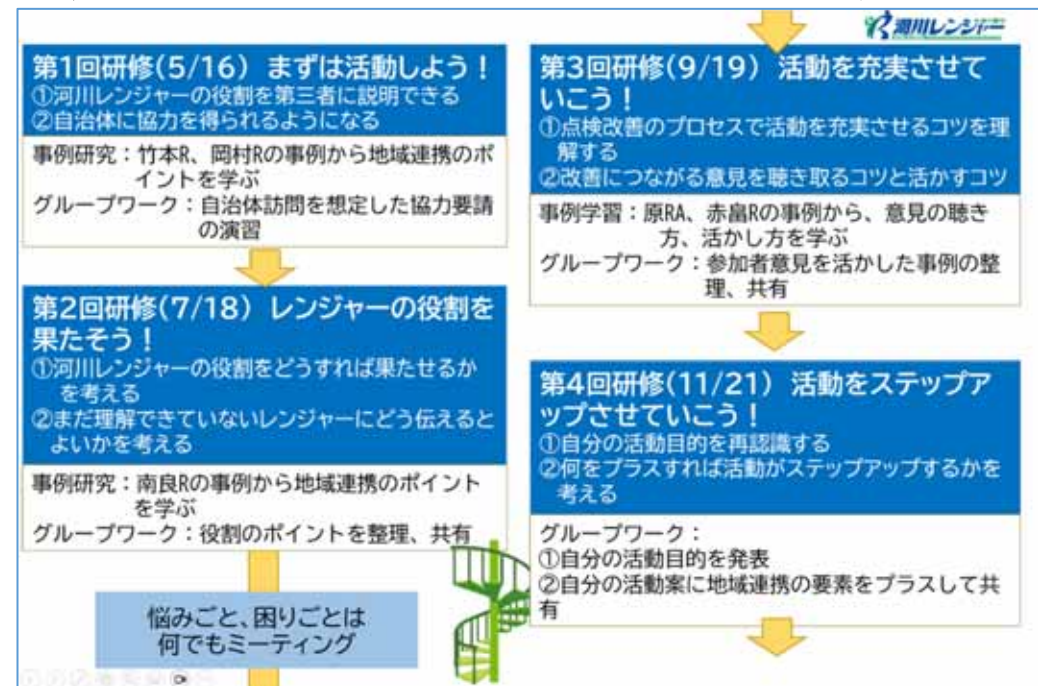
### (3) 育成プログラム(研修)：任命後の対応

#### レンジャー研修：「地域連携で川の課題に取り組む」活動のあり方を伝える

自治体への協力要請やレンジャーとしてのアプローチ方法を研修に取り入れた。地域連携で川の課題に取り組み、活動のステップアップを進められるようアドバイザーの事例学習を行った。



模範的な事例から学習

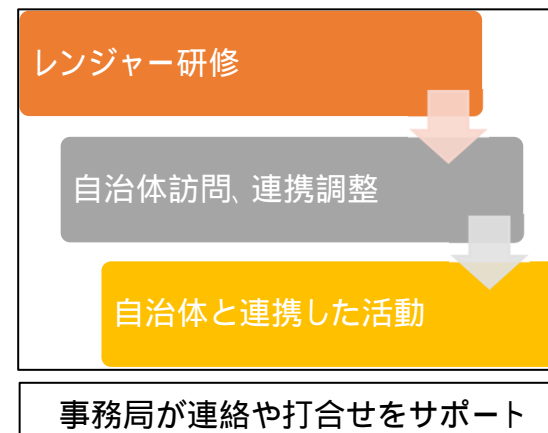


年間を通じたレンジャー研修で役割を確認

#### 活動での実践：自治体と連携した活動展開

研修をふまえ、自身の活動に取り入れ可能な河川レンジャーは自治体訪問を行い、連携した活動に向けた調整を実施。

事務局は各自治体との連絡調整をサポートし、活動実施に向けた資料作成補助などの支援を行った。



防災総合授業への協力  
(枚方市)

その他(木津川市・準備中)

# 活動での実践：鳥飼かわづくりプロジェクトの展開

レンジャー研修では、生物の専門家に鳥飼ワンドの現状を解説いただき**現地視察パート**と、課題をふまえて活動展開を検討する**ワークショップパート**で開催し、7～9月の活動実施を想定した計画素案をまとめました。

研修で検討した課題や活動展開をもとに活動を実施

## 活動検討研修の実施(5月24日、10月28日)

課題把握とスキルアップ

利活用を見据えた船上研修



舟運利用者の視点から鳥飼ワンドを検討できるよう、**巡視船を活用した船上研修を実施**。

鳥飼ワンド周辺は、樹木が繁茂し、川からはワンドが見えない状況であることを確認しました。

## 活動の実践(6月2日、7月27日、9月29日)

川づくり活動の実施(3回)

参加者の意見抽出

## 舟運関連イベントへの協力(10月13日)

舟運利用者への魅力発信

利用者視点での整備に関わる意見を取りまとめて提出

摂津市と連携し、ワンド保全の取り組みやワンド周辺の魅力発信



6月淀川・鳥飼の環境を学ぶ

7月とりかい夏まつり

9月鳥飼さんぽ 自然観察会

10月ブース展示と自然観察会

ワンドの整備にあたり、利用面から残置すべき樹木について意見をまとめて提出。11月に河川管理者・摂津市と現地にて樹木の確認を行った。

指導員制度の活用

# 5. 河川レンジャー活動成果の発信

## 5.1 活動成果の発表

令和6年度近畿地方整備局研究発表会(R6.9)アカウンタビリティ・行政サービス部門において、中村恵子レンジャーが「教育委員会との連携による地域の状況に応じた小学校防災教育の展開」の論文発表を行い、奨励賞を受賞した。

後日淀川河川事務所長より賞状の授与が行われた。



## 5.2 全国流域治水MAP(流域治水カワナビ)への掲載

流域治水の取り組みを共有するプラットフォームに河川レンジャーの取り組みを投稿。1月現在で「羽束師地区マイ・タイムライン」「鳥飼わんど保全」等の8件が登録、共有されている。



## 5.3 マスコミ等による活動紹介

### バッタ バッタ 飛んでゆけ!! 代表“選手”の距離や滞空時間競う 京都・大阪の河川で「オリンピック」 / 京都

地域 京都 関西  
毎日新聞 | 2024/11/7 地方版 有料記事 778文字



草むらでバッタを探す参加者。京都市右京区の桂川運動公園で、小学生1編劇



を通じ行政と住民をつなぐ役割を担う淀川管内河川レンジャーが、身近な自然に関心をもってもらう活動として主催。2011年から実施し、24年は3会場で行った。

草むらで探したバッタを選手に見立て、種別別・距離別・滞空時間別を競う「オリンピック」が10月、京都・大阪両府内の河川で開かれた。小学生以下の子どもが草むらで卵を産んで探し、獲ったうちの1匹を代表として、選手として競った。代表選手は、種別と距離の分類を担当した。金子さんは「昆虫は食物連鎖の中心にいて、他の生き物の餌になっていく。現実になり、餌にかかるといまだに生きているのは驚きだ。そうしたこと学び、楽しみをもって昆虫に接してほしい」と話した。朝から午前中から午後2時ごろまで動きが活発になり、11月いっぱいにはバッタ祭りができるという。バッタのオリンピックは、大阪市立自然史博物館が考案した標準手法。主要な生息域がつかめるため、往時によるモニタリング調査の役割も果たしている。【小泉健一】

毎日新聞(京都版)令和6年11月7日 ホームページにも掲載



マイライフ新聞令和7年1月1日

## 5.4 連携先や参加者による活動紹介

出前授業を実施した小学校のブログや、参加者による~tzyzgj 配信などの活動紹介が行われている。

### 11月22日(金) オープンスクール 4年生(6)



これまで4年生は「防災学習」として、調べ学習や地域のフィールドワーク、危機管理室や淀川レンジャーのスタッフの方々から出前授業を行っていただきました。本日も淀川レンジャーの山口さんに来ていただき、災害が起きた時にどのような行動をするのか?自分の住んでいる場所から避難所(学校)へ移動するときのポイントなどを教えていただきました。次回は淀川へ水質調査へ出かける予定です。

11月22日 2024-11-22 13:26

### 高槻市立三箇牧小学校 Takatsuki Sangamaki Elementary School

本日、3年生では、「河川レンジャー」の方々にお越しいただき防災教育をしていただきました。三箇牧地区は淀川が氾濫した際、多くのところが水に浸かることになります。子どもたちはハザードマップを利用しながら身を守るためにできることを学びました。



2024/11/14



## 6. 淀川水系一斉美化アクション

### 背景

淀川・桂川・宇治川・木津川は、地域の歴史・風土・文化を育み、都市域の貴重な自然として生物の生息の場となるとともに市民の憩いの場として利用されています。一方で、河川内には一部の利用者によるゴミの廃棄、散乱、不法投棄が見受けられ、河川管理・水辺利用・河川景観・公衆衛生の面から大きな課題となっています。

淀川管内河川レンジャーでは、このような課題に対して、活動の中でつちかってきた行政・地域との関係を活かし、「桂川流域クリーン大作戦」「大阪市3区合同清掃活動」をはじめとする清掃活動を大きく広げ、平成28年度より淀川水系一斉美化アクションとして活動に取り組むこととなりました。

### 目的

#### 河川美化

・清掃活動により河川を美しくする

#### マナー向上

・ゴミを捨てない、捨てさせない、持ち帰る

#### 水辺環境保全

・水辺環境の保全を考える

淀川水系（淀川・桂川・宇治川・木津川）の上流から下流まで河川レンジャーが住民とともに一斉に清掃することにより、河川美化、水辺環境保全に取り組みます。また、マナーアップの意識の共有を参加者に促し、ゴミを捨てない「ゴミの持ち帰り運動」へと発展させていきます。

この活動により、地域住民や来訪者が愛護する美しい淀川水系（淀川・桂川・宇治川・木津川）の定着を目指します。

将来的には、宇治川上流の琵琶湖（滋賀県）や木津川上流（三重県）を含めた淀川水系全体が連携する清掃活動を目指しています。

また、大規模な河川美化活動としては日本国内有数の試みであることから、河川レンジャーの活動や存在をより多くの方々に伝えることを期待しています。

実施にあたっては、淀川水系一斉美化アクション連絡会を設置し、各エリアの情報共有を行いながら進めています。PIRIKAアプリを活用したWEB版淀川水系一斉美化アクションも継続。

**① 桂川流域クリーン大作戦**

京都市以南 令和7年2月23日(日)  
 亀岡市以北 令和7年3月2日(日)

**② 宇治川流域クリーン大作戦**

淀大橋 令和7年1月19日(日)

**④ 淀川芥川クリーンアップ大作戦**

令和7年3月15日(土)

**③ 木津川流域クリーン大作戦**

令和7年2月16日(日)

**⑥ 淀川右岸クリーン大作戦**

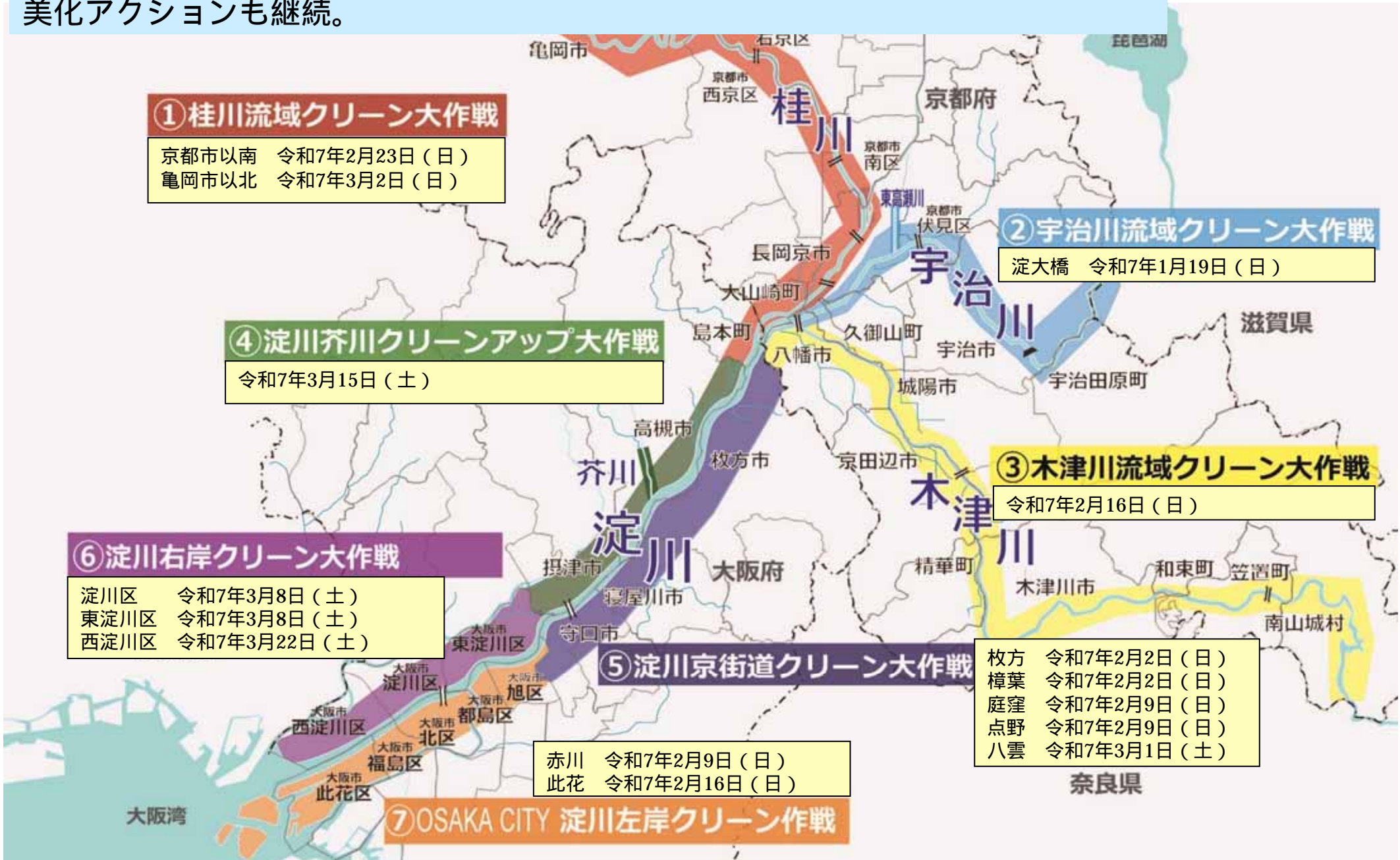
淀川区 令和7年3月8日(土)  
 東淀川区 令和7年3月8日(土)  
 西淀川区 令和7年3月22日(土)

**⑤ 淀川京街道クリーン大作戦**

枚方 令和7年2月2日(日)  
 樟葉 令和7年2月2日(日)  
 庭窪 令和7年2月9日(日)  
 点野 令和7年2月9日(日)  
 八雲 令和7年3月1日(土)

**⑦ OSAKA CITY 淀川左岸クリーン作戦**

赤川 令和7年2月9日(日)  
 此花 令和7年2月16日(日)



# 7. 淀川かわづくりパートナー

## 7.1 制度概要

### (1) 淀川かわづくりパートナーとは

- 令和4年度、淀川かわづくりパートナーは、淀川河川事務所及び淀川管内河川レンジャーと協力し、河川と地域との良好な関係づくりを行うとして制度運用開始。
- 登録の条件は淀川発見講座受講

### (2) パートナー登録にあたって

パートナー運営要領を遵守し、誠実に活動すること、活動を宗教活動・政治活動・営利活動等、他の目的に利用しないこと、知り得た個人情報や希少種情報を悪用しないこと等を誓約

### (3) パートナー活動とは

[参加][スタッフ] の2種類の協力形態があります。

## 7.2 淀川かわづくりパートナー活動報告

### (1) 登録状況

募集期間 令和6年6月1日～6月12日

(令和5年度は令和6月3日～7月18日)

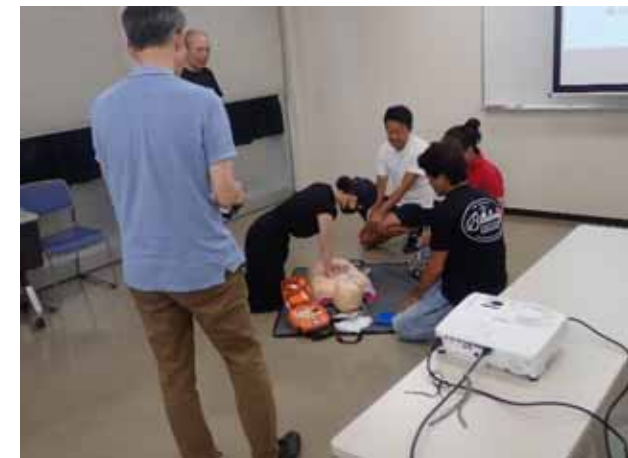
登録者内訳	人数
前年度からの継続	55名
淀川発見講座2024 修了による登録	22名
合計	77名



77名 (令和6年12月時点)

### (2) 研修状況

内容	実施日	参加
救急法研修オリエンテーション(集合形式で開催)	8/10(土)	9名
動画配信(オリエンテーション(仕組みや運用をご紹介、R6活動予定))	8/10-10/31	パートナー通信で動画視聴URLを案内



### (3) スタッフ・参加者の募集 パートナー通信の発行

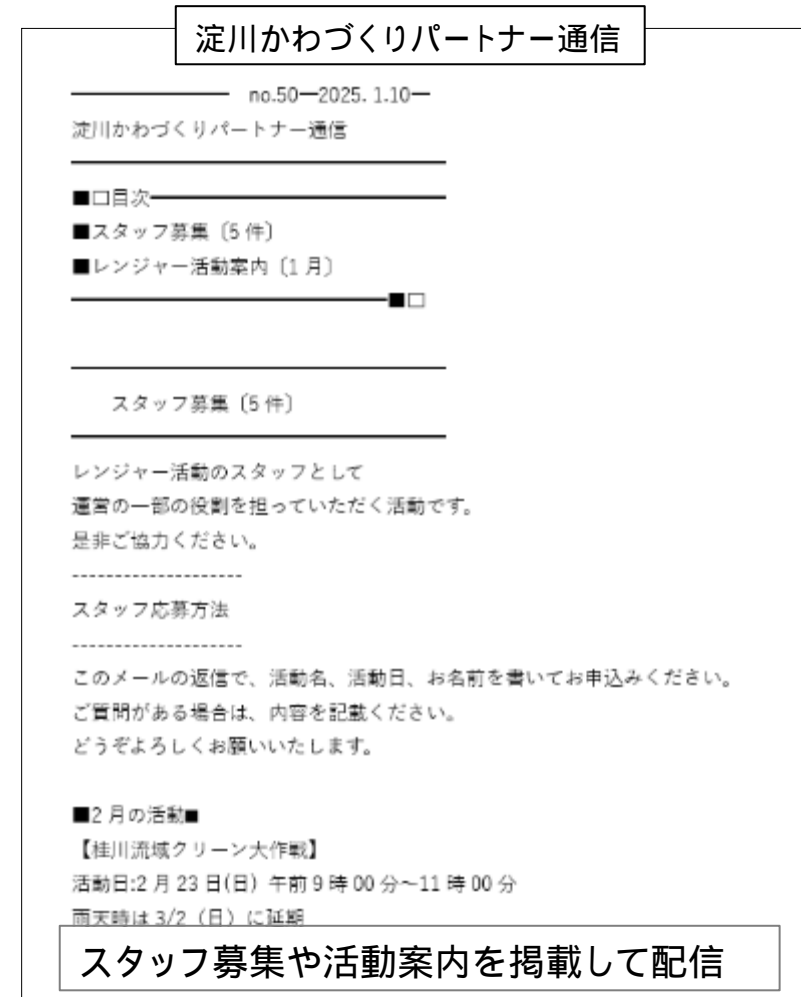
登録者には、毎月「淀川かわづくりパートナー通信」をメール配信し、スタッフ募集及び活動への参加者を募集した。

今年度は、パートナー通信を17回発行(R6.12月末時点)した。スタッフを募集した34件のうち、定員割れは7件(20%)であった。(昨年度は募集した活動のうち、定員割れは76%)

スタッフ協力と活動参加の重複を勘案すると21名(全体の27%)が何らかの形でパートナーとして活動された。(12月末時点、昨年度は26名が活動)

スタッフ募集状況	件数
募集した活動	34件
定員割れの活動	7件
募集した34件のうち、荒天等による活動とりやめが5件 (12月末時点)	

パートナーの活動状況	人数
スタッフ協力	17名
活動参加者	9名
活動参加者は、事務局を通じて申込みがあった人数を集計 (12月末時点)	



ふれあい土木展



摂津市イベント ブース展示

## (4) パートナーの活動状況

令和6年度は、下表の活動においてパートナーがスタッフ協力した。

昨年度、パートナーからは、活躍できる活動の数・種類を充実してほしい、早く活動計画を教えてほしいとの要望があがっていた。一方、河川レンジャーからは、パートナーに協力を依頼したいが、手順がわからない等の意見があった。

そのため、今年度は、年度当初の説明に加え、毎月、月初に次月の活動予定の確認を行う際に、メールにパートナーを募集する手順や留意点等を記載して河川レンジャーに周知した。

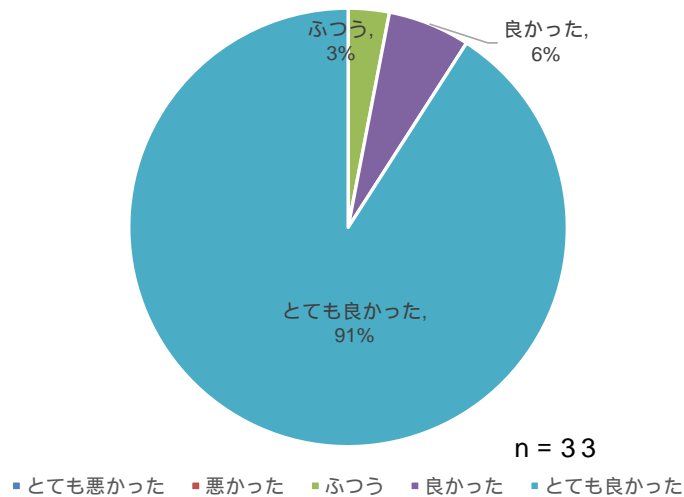
それにより、全体の半数(11名)の河川レンジャーが制度を活用し、主に大阪府域で活動の募集件数や種類が増加した。また、早期に募集を開始し、希望人数に達するまで複数回募集を行うことで、定員割れの改善につながった。

活動地域		件数	主な活動	パートナーに依頼した役割
大阪府	大阪市内、摂津市、守口市、枚方市、高槻市	23件	河川敷の清掃、ヨシ工作、淀川について学ぶ講座、自然観察会、歴史探訪、ブース展示(啓発・体験)	受付、安全管理の補助、ブース運営補助、ヨシ工作の補助、浸水歩行体験の補助、ライフジャケット着用体験の補助、バッタの飛距離の計測
京都府	八幡市、精華町	2件	ヨシ工作、自然観察会、ブース展示(啓発・体験)	ヨシ工作の補助、安全管理の補助、ライフジャケット着用体験の補助
奈良県	奈良市	2件	水辺の安全指導(学校のプールにて実施)	ライフジャケット着用体験の補助

## (5) 活動に参加したパートナーの意見

活動後(スタッフ協力)のアンケートにおいて、以下のような意見があった。

この活動にスタッフ協力されて良かったですか。



### 活動に参加してよかった点

- いろいろな役割を体験でき、参加した子どもの元気な顔を見られる。
- 活動に参加したことで、いろいろな人と知り合うことができる。
- 参加者と一体感があり、河川の環境改善を実感出来たことがよかった。
- 浸水歩行体験の活動にスタッフ協力し、参加者に教えることによって自らの訓練にもなった。
- 実際のレンジャー活動が知れて先輩レンジャーに質問が出来た。

### 活動に参加して気になった点、改善に関する提案

- パートナーが具体的な役割を理解できるよう、活動当日でもよいので、事前レクチャーや打合せの時間をもう少しつけてほしい。
- 各パートナーの役割分担を明確にすれば、当日の運営スタッフの負担軽減も出来るのではないかと。
- 毎回決まったスタッフがいる活動は、行きづらいと思った。活動に応じて「定期的に活動するパートナー」という形で募集してはどうか。

## (6) まとめ

- 登録されたパートナーのうち、一定数が、河川レンジャー活動に協力・参加している。
- 令和6年度にスタッフ協力したパートナーの約9割が活動に協力して「とても良かった」と回答された。
- 一方で、パートナーからは、活動の改善に関する提案・意見もあり、パートナーの定着に向けて、河川レンジャーが適切にパートナーを活用できるよう問題点の共有や制度の周知を引き続き行っていくことが必要と考えられる。また、定例活動においては、継続して協力するパートナーを募集する等、ニーズに合わせて柔軟に募集していくことも必要と考えられる。